JZ

PCP-200
プリン写ル
取扱説明書
応用編

保証書付（裏表紙）



本書では、プリン写ルの各機能について
くわしく説明しています。

●操作を始める前に、別冊の「入門編」をご覧ください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）


⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）


●記号は「しなければいけないこと」を意味しています。（左の例はプラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について


煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプターをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて


ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて


ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

⚠ 警告

ACアダプターについて



- 濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

水、異物はさける



水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない



本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。
破裂による火災・けがの原因となります。

インクおよびプリントカートリッジについて



- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。
  目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
  万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。
  インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない（必ずACアダプターを持って抜く）

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる

本機やメモリーカードに記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

コネクター部への接続


メモリーカード挿入口などのコネクター部には、指定以外の物を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- **権利者が存在する画像などは、個人として利用するほかは、著作権法上、その権利者に無断で使用できません。**
- **紙幣、有価証券などの中には、その複写物を所有するだけでも罰せられるものもあります。**

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、電池消耗等に起因する文章の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

こんなときは、どの説明書を読む？

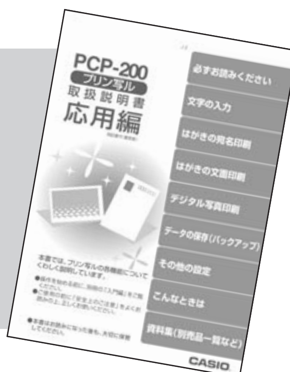
- 使い始める前に準備しておくことを知りたい
- 宛名を登録して印刷したい
- はがきの文面を作って、印刷したい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい



取扱説明書 入門編

本機の使いかたをイラストでわかりやすく説明しています。
すぐに写真やはがきの印刷をしてみたいというときに、お読みください。

- 文字の入力のしかたを知りたい
- 宛名面の作りかたについて知りたい
- 文面の作りかたについて、もっと知りたい
- デジタルカメラで撮った写真を印刷したい
- 機械の調子がおかしい?



取扱説明書 応用編(本書)

本機の機能をフル活用するための説明が載っています。
機能別に説明しているので、目次や索引で使いたい機能がすばやく探せます。

- どんなイラストやデザインがあるか知りたい

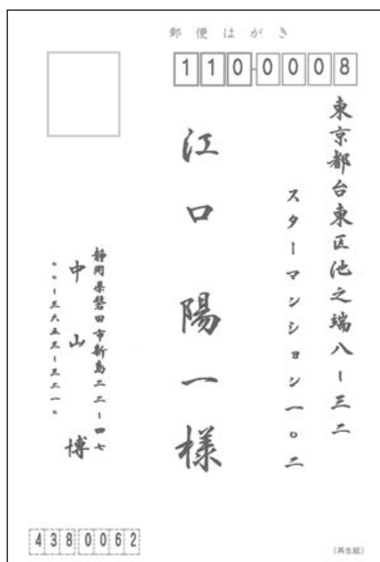


デザインカタログ

本機に内蔵されているはがきのデザインやイラスト・見出しが紹介されています。
「デザインカタログを見ながら選びましょう」と書いてあるときは、このカタログを見ながら選んでください。

目　次

やりたいこと目次



・相田太郎様
香織様
〒102-0073 東京都千代田区九段北３６－４３
ベルデ九段６０７
０３－００００－００００
・青山雄一様
広美様
〒141-0031 東京都品川区西五反田８９－４１
０３－００００－００００
・伊藤次郎様
雅美様
〒110-0008 東京都台東区池之端
８－３－２
０３－００００－００００
・江口陽一様
知美様
〒110-0008 東京都台東区池之端８－３２
スターマンション１０２
０３－００００－００００
・江藤一樹様
優花様
〒134-003 東京都江戸川区○町４－５－６
０３－００００－００００
・加藤弘人様
由美様
〒192-8556 東京都八王子市◇町５－６－２
０３－００００－００００
・坂木次郎様
〒150-0000 東京都渋谷区○○町１－２－３
コーポ樫尾１１２
０３－００００－００００





写真を印刷したい　155ページ



写真にコメントを入れたい　163ページ



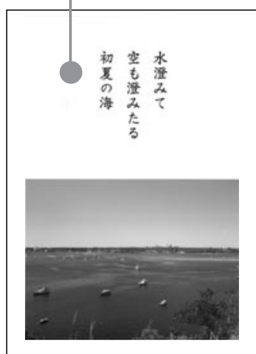
写真の一覧を印刷したい　158ページ



写真をシールにしたい　169ページ



俳句を入れて写真を印刷したい
171ページ



写真を入れてカレンダーを印刷したい
182ページ



※「取扱説明書 応用編」の印字例や画面の内容などは、実際と多少異なることがあります。

MEMO

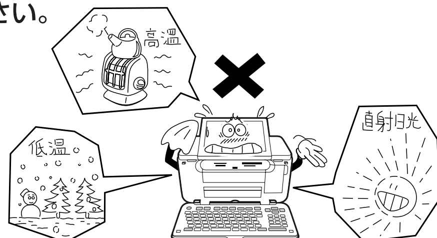
第 1 章

必ずお読みください

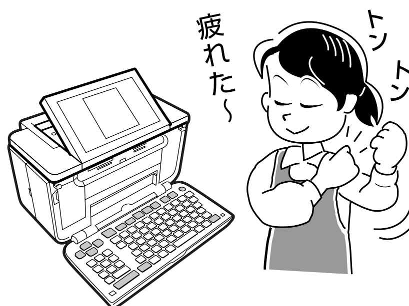
使用上のご注意

本機を末永くご愛用いただくために、以下の点にご注意ください。

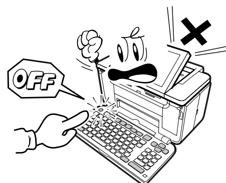
使用温度範囲は5℃～40℃(使用最適温度範囲：15℃～35℃)です。気温の低い場所から暖かい室内に持ち込むと動作部に露がつき正常に動作しないことがあります。このときは1時間以上放置してからお使いください。
また、直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所での使用は避けてください。



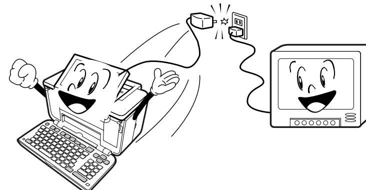
長時間お使いになるときは、健康のため1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。



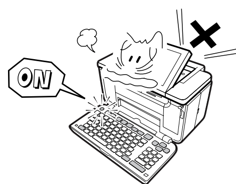
印刷中、登録・削除などの編集作業中、プリンター調整中などに電源を切らないでください。



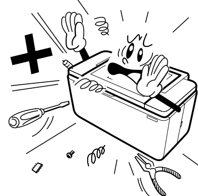
テレビなどとは別の電源コンセントを使用し、テレビなどから遠ざけて使用してください。



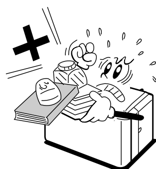
電源を入れたまま長時間放置しないでください。表示輝度の劣化を生じることがあります。



分解しないでください。



本機の上にものを乗せないでください。また落としたり強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

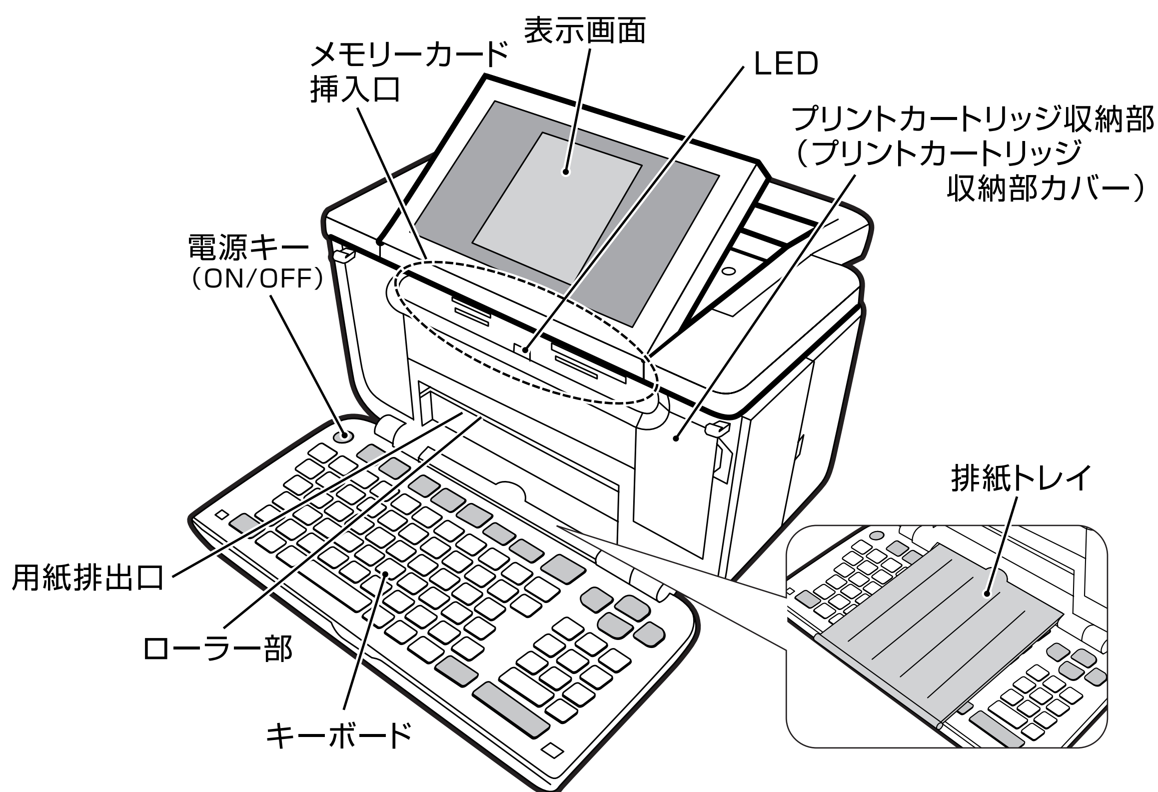


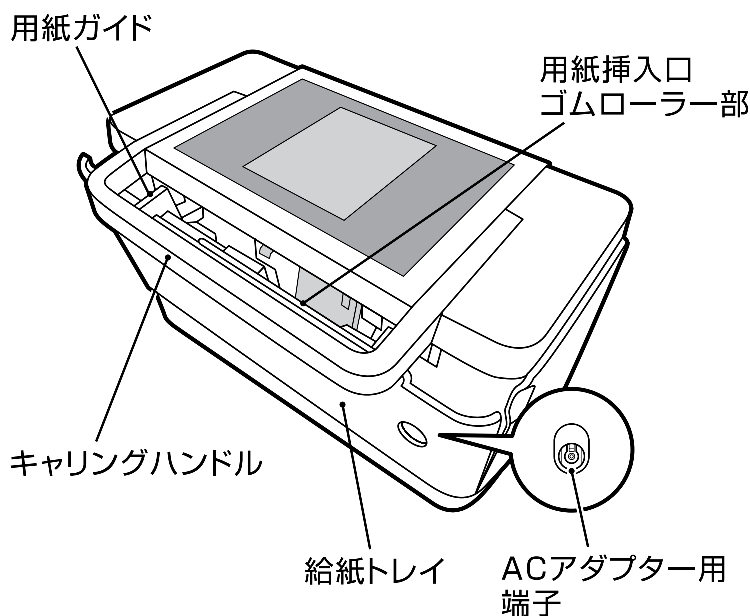
電源を切ったあと、表示画面が完全に消えるまでACアダプターをコンセントから抜かないでください。



●印刷中は絶対に用紙挿入口のゴムローラー部および用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。
指がローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
●本機を使用中、少し熱くなることがありますが、故障ではありません。

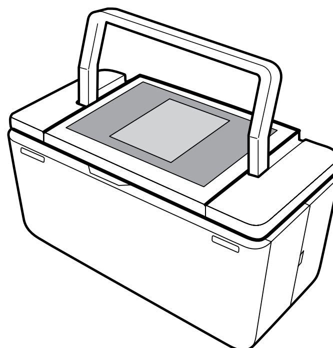
各部の名称


メモリーカード
挿入口
表示画面
LED
プリントカートリッジ収納部
（プリントカートリッジ
収納部カバー）
電源キー
（ON/OFF）
排紙トレイ
用紙排出口
ローラー部
キーボード


用紙ガイド
用紙挿入口
ゴムローラー部
キャリングハンドル
給紙トレイ
ACアダプター用
端子

持ち運びのときは

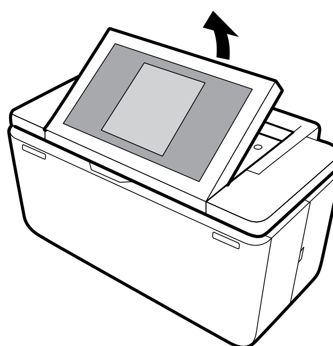
本機を持ち運ぶときは、図のようにキャリングハンドルを引き上げてお使いください。



重 要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

表示画面の角度を調整する

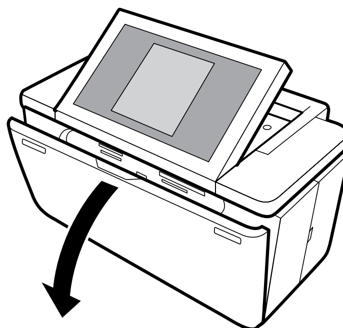
表示画面は、図のように調整することができます。見やすい角度に合わせてください。



重 要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

キーボードを開く

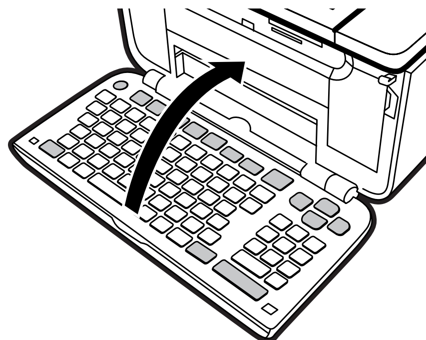
文字を入力するときなどは、本体上部を押さえながら、キーボードを開いてください。



重 要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

● キーボードを閉じるときは

キーボードを「カチッ」と音がするまで押し上げてください。



重 要
- 印刷中は、キーボードを閉じないでください。
- 排紙トレイが出ているときは、必ず排紙トレイを戻してからキーボードを閉じてください。
- メモリーカードをセットしたままキーボードを閉じないでください（必ず、メモリーカードを抜いてから、キーボードを閉じてください）。

電源を入れる

重要 ご購入後、はじめて電源を入れるときは、リセット（初期化）、プリンターの調整、時計の時刻合わせなどが必要です。別冊の取扱説明書 入門編の「準備をしましょう」を参照して、必ず行ってください。

ACアダプターを接続する

重要
- ACアダプターは必ずAC100Vのコンセント（通常の家庭用コンセント）に差し込んでください。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。

⚠ 警告

ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。
- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コード／ACアダプターのプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて



濡れた手でACアダプターやプラグに触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。
- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない（必ずACアダプターを持って抜く）

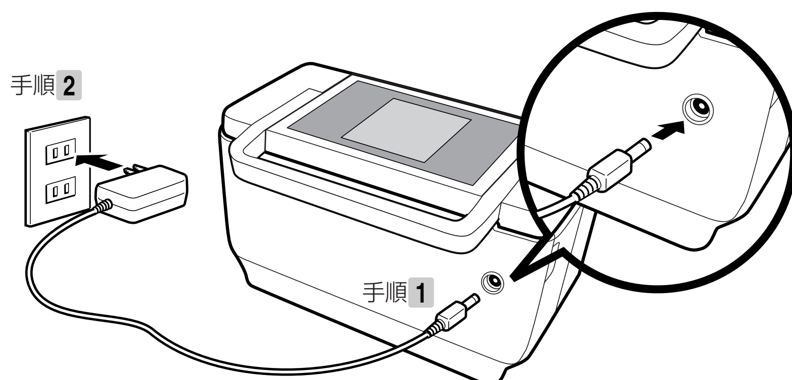
ACアダプターについて



ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。
次のことは必ずお守りください。
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

1 付属のACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子に差し込みます。

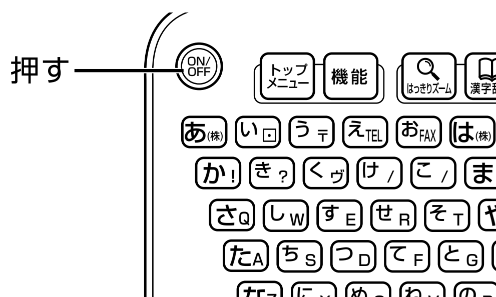
2 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントに差し込みます。



電源を入れる／切る

● 電源を入れるときは

電源が切れている状態で ON/OFF を押してください。



重要
- 「電源を入れる操作」や「電源を切る操作」は、完了するまでに10～20秒かかることがあります。完了するまで、そのまましばらくお待ちください。
- 本機をご使用になるときは、プリントカートリッジがセットされていることを確認してください。例えば、「住所録の作成」だけを行いたいときも、プリントカートリッジをセットした状態で行ってください。

● 電源を切るときは

1 ON/OFF を押して、電源を切ります。

2 表示画面が完全に消えたことを確認します。

3 ACアダプターのプラグを、ご家庭用のコンセントから抜きます。

4 ACアダプターのコネクターを、本体のACアダプター用端子から抜きます。

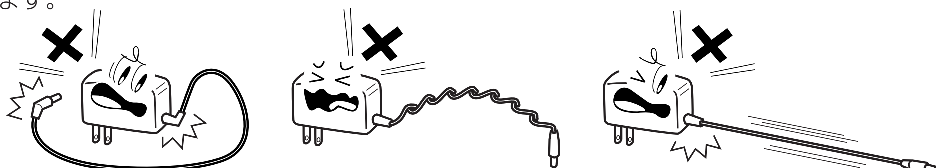
重要
- 必ず表示画面が完全に消えてからACアダプターを家庭用のコンセントから抜いてください。表示画面が消える前にACアダプターを抜くと登録したデータが消えることがあります。
- 電源を切るときは、必ず、プリントカートリッジ収納部カバーがきちんと閉まっていることを確認してください。プリントカートリッジ収納部カバーが正しく閉められていないと、インクが乾燥してプリントカートリッジが使用できなくなったり、プリンターの故障の原因になることがあります。

オートパワーオフ

約1時間、キー操作を行わないと自動的に電源が切れます。

AC アダプター使用上のご注意

ACアダプターのコードの先端や根元部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
また、コードの先端や根元部分が折り曲げられた状態での保管は避けてください。コードが断線して故障の原因となります。



使用できるメモリーカードと写真のデータ

本機は、メモリーカードに保存してある写真のデータを印刷したり、また本機に登録してある住所録などのデータをまとめてメモリーカードに保存することができます。

使用できるメモリーカード

重要
- 下記以外のメモリーカードを使用すると、本機およびメモリーカードの故障、破損の原因となります。
- 下記のメモリーカードでも、本機やカードの状態によっては認識できない、または正しく動作しない場合があります。
- メモリーカードは、「デジタルカメラ写真のデータ読み込み」および「バックアップデータの保存」「文面やコメントプリントなどの作成物の保存」のときに使用します。本機のメモリー増設用（「住所録の登録件数を増やす」など）としては使用できません。

メモリーカード	最大容量
コンパクトフラッシュ（TYPE I/TYPE II）	8GB
メモリースティック（Pro含む）※1	Pro：4GB、その他：128MB
メモリースティック Duo（Pro含む）※1	Pro：4GB、その他：128MB
SDメモリーカード	2GB
mini SDメモリーカード※2	2GB
micro SDメモリーカード※2	2GB
SDHCメモリーカード	8GB
マルチメディアカード	1GB
xDピクチャーカード	512MB
xDピクチャーカード Type M	2GB
xDピクチャーカード Type H	2GB

※1 マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。
※2 専用アダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。

※各カードの形状と挿入方法は、21ページをご覧ください。
※上記メモリーカードでも、ご使用になれない場合があります。
※マイクロドライブ、スマートメディアには対応していません。

- コンパクトフラッシュはSan Disk Corporation社の商標です。
- メモリースティック、メモリースティック Duoはソニー株式会社の商標です。
- SDメモリーカード、mini SDメモリーカード、micro SDメモリーカードは商標です。
- マルチメディアカードはドイツInfineon Technologies AG社の商標です。
- xDピクチャーカードは商標です。

● ご購入後はじめて使うとき

ご購入後はじめてメモリーカードを使うときは、使用するデジタルカメラで初期化（フォーマット）してからお使いいただくことをおすすめします。

- メモリーカードを初期化しないで撮影した場合、本機で使用すると「メモリーカードエラー」になることがあります。
- メモリーカードをパソコンで初期化すると、正しく動作しないことがあります。
- メモリーカードを初期化すると、保存されている内容がすべて消えてしまうので、必要のないときは行わないでください。

メモリーカードをセットする

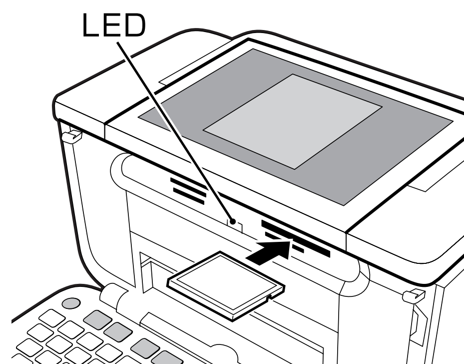
重要
- メモリーカードには表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。向きや角度に注意して、確実にセットしてください。
- メモリーカードを使う際は、メモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。

● メモリーカードをセットする

重要 メモリーカードを一度に複数枚セットすることはできません。

1 (ON/OFF) を押して、電源を入れます。

2 お使いのメモリーカードの挿入口に、メモリーカードを、ゆっくり、しっかり押し込みます。

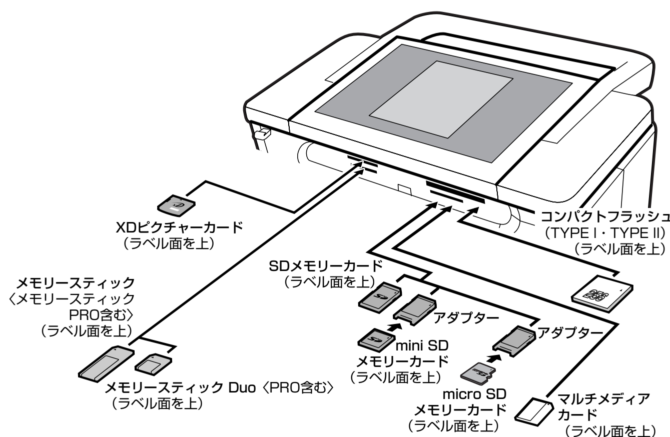


- メモリーカードが正しくセットされると、LEDが点灯します。
- メモリーカードにアクセス中は、LEDが点滅します。

重要
- メモリーカードは、必要以上に強く押し込まないでください。また、メモリーカードがセットされている状態で、キーボードを閉めないでください。本機およびメモリーカードの故障、破損の原因になります。
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入口にはメモリーカード（+アダプター）以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入口に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。

メモリーカードの挿入方向について

メモリーカードを挿入するときの、表裏と前後の方向は次のようになります。お使いのメモリーカードの種類をご確認の上、正しく挿入してください。



※mini SDメモリーカード、micro SDメモリーカードは、そのまま使用することはできません。
　必ず、SDアダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。
※マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。

● メモリーカードを取り出す

重 要 印刷中・メモリーカードに保存中や画面に「メモリーカードを引き抜かないでください」と表示されているときや、LEDが点滅中には、メモリーカードを取り出さないでください。

1 **メモリーカードをまっすぐ手前に引き抜きます。**

LEDが消えます。

扱える写真のデータ

本機で印刷できる画像はデジタルカメラなどで撮影した画像で以下の条件を満たすものです。ご使用になる機能によって印刷できる写真のサイズが異なりますのでご注意ください。

(1) DCF Exif2.1(JPEG準拠)
(2) 対応ファイルサイズ

10M Byte以下:	文面 コメントプリント シールプリント 写真俳句 写真カレンダー 選んでプリント DPOFプリント
容量の制約無し:	インデックスプリント

(3) 最小画素数　160 × 120 ピクセル

●携帯電話で撮影した写真について

DCF規格対応の携帯電話でも、撮影時の操作方法によってはDCF規格とは異なるフォルダー構成下に写真データが保存される場合があります。このような写真は本機では印刷することはできません。撮影した画像がDCF規格に準拠した形式でメモリーカード内に保存されるように操作してください(撮影した画像が、メモリーカードの「DCIM」フォルダーに保存されます)。また、撮影前にモードの設定が必要な場合があります。詳しくはご使用になる携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

プリントカートリッジのセットと交換のしかた

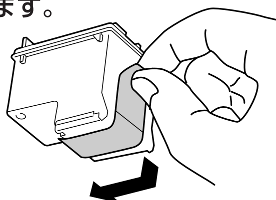
印刷するときには、プリントカートリッジを使います。

重要　必ず指定のプリントカートリッジをお使いください。(▶▶241ページ)

プリントカートリッジをセットする

1 **ACアダプターを接続して、電源を入れます(▶▶17ページ)。**

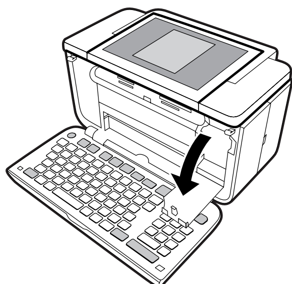
2 **プリントカートリッジについているピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。**



重要
- 必ず透明のプラスチックテープだけをはがしてください。金色の金属フィルムは絶対にはがさないでください。プリントカートリッジが使用できなくなります。
- 一度はがした透明のプラスチックテープは、絶対に貼り直さないでください。ノズル内のインクが混ざり合い、使用できなくなることがあります。

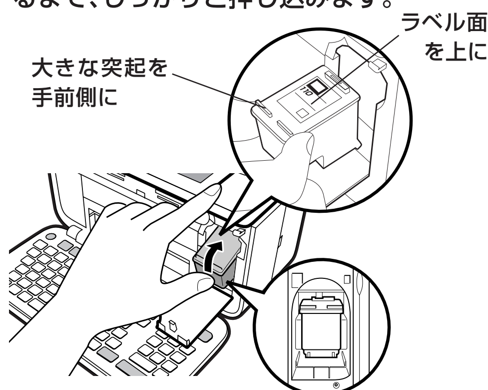
3 **プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。**

プリンターが動きます。



重要　「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

4 **プリントカートリッジを「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。**



セットした状態

- 正しくセットしないとプリントカートリッジの故障の原因となります。

5 **プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。**

※カバーが開いていると、エラーが表示されます。

重要　自動的に「プリンターの調整」を行います。プリンター調整用の用紙をセットして画面の指示にしたがって操作してください。
「用紙のセットのしかた」▶▶25ページ
「プリンターを調整する」▶▶203ページ

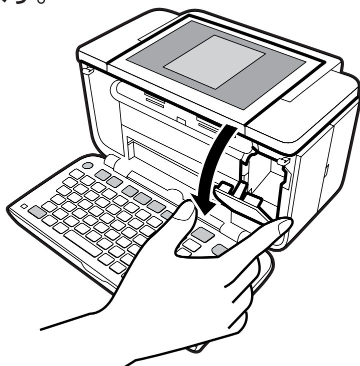
印刷できる枚数（目安）

本機に付属のプリントカートリッジで印刷できる枚数は下記のとおりです。
はがき印刷：約180枚　　標準写真（L判サイズ）：約90枚
※印刷する内容によって、印刷できる枚数は異なります。
※印刷条件の詳細(▶▶241ページ)。

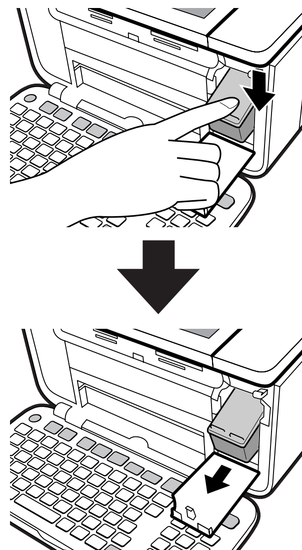
プリントカートリッジを交換する

1 ACアダプターを接続して、電源を入れます(▶▶ 17ページ)。

2 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。



3 プリントカートリッジを下に押しながら手前に引きます。



4 新しいプリントカートリッジをセットします。

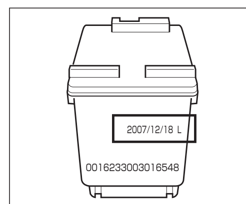
「プリントカートリッジをセットする」
▶▶ 23ページ

プリントカートリッジ 使用上のご注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。 万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクを誤って飲まないようにご注意ください。 インクの成分には、硝酸塩が含まれております。万一、インクを飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリントカートリッジは、お子さまの手の届かない所に保管してください。
- プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。 なお、プリントカートリッジの改造やインクの詰め替えなどによって生じたプリンターおよびプリントカートリッジのトラブルについては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 振動や衝撃を与えないでください。また、金属部分には手を触れないでください。
- プリンターに装着するまでは包装を開封せずに、直射日光を避け、常温で保管してください。
- 使用中のプリントカートリッジは、本機に入れたまま保管してください。プリントカートリッジを単体のままで長期間保管すると、インクノズル部分の目詰まりの原因となります。

プリントカートリッジに印刷されている数字の見方

- プリントカートリッジに印刷されている数字は、使用期限です(右のイラストの「2007/12/18」は「2007年12月18日」を表しています)。使用期限までに使い切ってください。
  なお、良質な印刷品質を得るために、使用開始後6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。



資源の節約・有効利用と環境保護のため、使用済みのプリントカートリッジの回収にご協力ください。プリン写ルでは、日本ヒューレット・パッカード株式会社製のプリントカートリッジを使用しています。使用済みのプリントカートリッジは、販売店に設置されている日本ヒューレット・パッカード株式会社指定の回収ボックスに入れてください。

用紙のセットのしかた

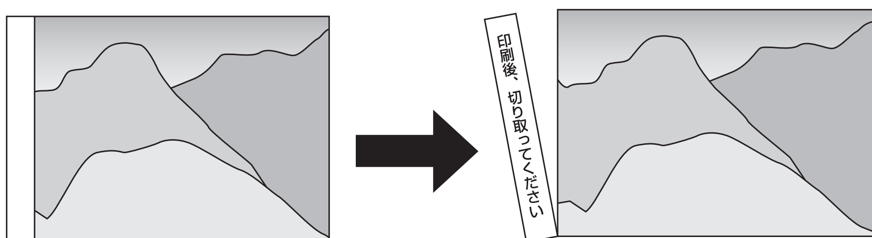
印刷する前に用紙をセットします。

使用できる用紙

用紙	サイズ	厚さ	用紙の種類
はがき	(縦)148mm×(横)100mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm~0.26mmの範囲のもの	●普通官製はがき ●インクジェット用はがき ●フォト光沢はがき
A6	(縦)148mm×(横)105mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm~0.26mmの範囲のもの	●インクジェット用紙 ●フォト光沢紙 ●普通紙
L判	(縦)127mm×(横)89mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm~0.26mmの範囲のもの	●インクジェット用紙 ●フォト光沢紙 ●普通紙
2L判	(縦)178mm×(横)127mm	官製はがきと同等の厚さで、0.18mm~0.26mmの範囲のもの	●インクジェット用紙 ●フォト光沢紙 ●普通紙
10×15タブ*2	(縦)165mm×(横)102mm(タブを切り取り後、10×15cm*1)		日本ヒューレット・パッカード株式会社製「アドバンスフォト用紙(光沢)」
シール紙(16面付け)	(縦)148mm×(横)100mm		別売品「16面分割光沢フォトシール」(PO-165)。241ページの別売品一覧をご覧ください。

●「タブ付き用紙」とは？

「切り取り可能な部分(タブ)」が付いている印刷用紙のことです。
本機で、10×15cm*1の余白のない写真を印刷するときは、10×15タブをご使用になり、「フチ：なし」を指定して印刷を行ってください。
印刷後にタブを切り離すと、10×15cm*1の余白のない写真ができます。



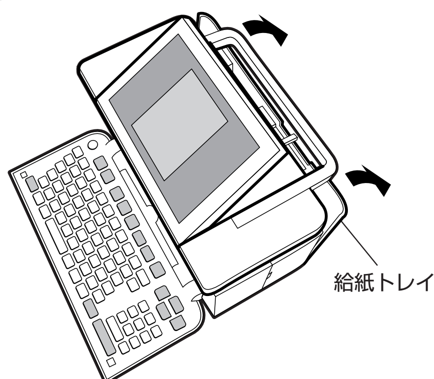
※1「10×15cm」は、おおよそのサイズです。
※2「10×15タブ」印刷用紙は、下記のものをご使用ください。
《日本ヒューレット・パッカード株式会社 製》
・アドバンスフォト用紙(光沢)

重要
- 使用できる用紙は、用紙のサイズ、厚さおよび種類が上記の表の条件に合っているものだけです。
- コピー用紙などの薄い紙や、形状が不定形な用紙などは、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」(官製はがきに写真が貼り付けられているもの)の宛名面への印刷は、本機ではできません。
※用紙詰まりや故障の原因となりますので使用しないでください。

用紙をセットする

重要
- 用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- 用紙どうしが静電気ではりついているときは、間に空気を入れるなどしてからセットしてください。
- 印刷中に用紙を追加することはできません。
- 「16分割光沢フォトシール」「インクジェット紙光沢年賀郵便はがき」は、1枚ずつセットしてください。
- フォト光沢はがきは、印刷時に、用紙どうしが貼り付きやすい場合、1枚ずつセットしてください。
- 印刷途中に絶対に用紙を引き抜かないでください。
- 用紙に反り･曲がりがあると用紙がつまる原因となります。用紙の反り･曲がりを直してから本体にセットしてください。
- 用紙をセットする際は、印刷面を表側にして、必ず用紙の左端を挿入口の左端に沿わせてセットしてください。セット後は、必ず「用紙ガイド」を用紙に当たる位置まで動かしてください。

1 給紙トレイを開きます。



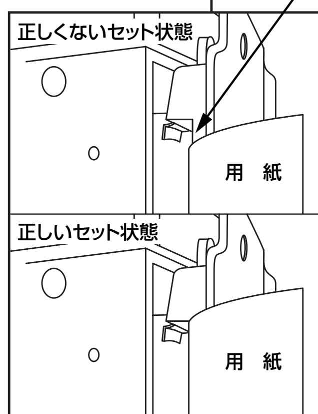
2 用紙ガイドを拡げます。



3 印刷面を表側にして、用紙の左端を挿入口の左端に沿わせ、軽く止まるまで差し込みます（詳細は、27ページ「用紙をセットする向きについて」をご覧ください）。

- 一度にセットできる枚数は、20枚までです（印刷枚数は99枚まで設定可能です）。
- タブが付いている用紙は、タブが上になるようにセットします。





（本機を側面から見た状態）

このとき、上のイラストのように、端にすき間が空かないようにしてください。
正しくセットしないと、用紙が曲がって挿入され、正しく印刷できないことがあります。

4 用紙ガイドが用紙に当たる位置までつまみをスライドさせます。



- 正しくセットしないと印刷の際に、用紙が斜めに給紙されたり故障の原因となります。

5 排紙トレイを引き出します。



●用紙をセットする向きについて

印刷の種類や用紙の種類によって、用紙をセットする方向や表裏を確認して、正しくセットしてください。

用紙の種類	印刷の種類	セット方向
はがき	宛名印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。
	文面印刷	印刷する面を表側に向けて、宛名の郵便番号の位置が下側になるようにセットする。
	選んでプリント DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 写真カレンダー	印刷する面を表側に向けてセットする。
A6	選んでプリント DPOFプリント インデックスプリント	印刷する面を表側に向けてセットする。

用紙の種類	印刷の種類	セット方向
L判	選んでプリント DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句	印刷する面を表側に向けてセットする。
2L判	選んでプリント DPOFプリント コメントプリント インデックスプリント 写真俳句 写真カレンダー	印刷する面を表側に向けてセットする。
10×15タブ	選んでプリント インデックスプリント	印刷する面を表側に向けて、タブが付いている側を上側に向けてセットする。 タブ 印刷する面 ABC
シール紙(16面付け)	シールプリント	・印刷する面を表側に向けてセットする。 ・1枚ずつセットする ※一度に複数枚セットすると正しく印刷できない場合があります。

※光沢紙に写真を印刷する場合は光沢面を表側に向けてセットしてください。

※光沢年賀はがきを使用する場合は、1枚ずつセットしてください。

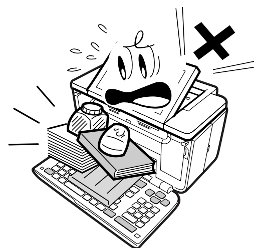
印刷するときの注意事項

印刷前の注意事項

●本体は平らな場所に置いてください。

●プリントカートリッジが確実にセットされていることを確認してください。セットされていないと印刷の動作は実行されません。

●プリントカートリッジ収納部カバーが閉じていることを確認してください。



●用紙排出口にものがないことを確認してください。

●排紙トレイを引き出しておいてください。

●フォト光沢はがきなどに両面印刷をする場合は、「宛名」→「写真印刷」の順番で印刷操作をしてください。
ただし、写真印刷面にスジ状のキズが付着する場合があります。

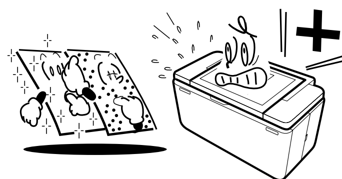
用紙セット時の注意事項

●用紙挿入口、本体内部に用紙が残っていないことを確認してから、用紙をセットしてください。

●用紙を用紙挿入口の奥まできちんと当たるようにセットしてください。

●印刷に適している用紙については、「使用できる用紙」(25ページ)の説明をご覧ください。

●次のようなはがきや用紙を使わないでください。



- 封筒
- 往復はがき
- 写真付きポストカード(写真店などで注文できる官製はがきに写真が貼り付けられたもの)
- 表面が凸凹やザラザラのもの
- 折れ曲がったり、反りの激しいもの
- 一般の官製はがきにくらべて、極端に厚い紙や薄い紙、腰の強い用紙
- 樹脂シートなどのインクを吸収しないもの
- 不定形に切断したコピー用紙・カレンダーなど指定以外の用紙
- 極端に、用紙どうしの、すべりがわるい(貼り付きやすい)用紙

●用紙挿入口に一度にセットできる用紙は、官製はがきの厚さの場合で「20枚まで」です(印刷枚数は「99枚」まで設定可能です)。

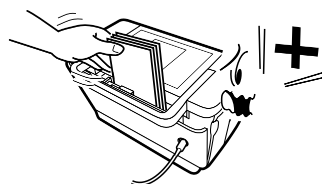
●「16分割光沢フォトシール」「インクジェット紙光沢年賀郵便はがき」は、1枚ずつセットしてください。
複数枚セットすると正常に印刷できない場合があります。
※光沢でない「インクジェット紙年賀郵便はがき」では、20枚までセットできます。

●市販のフォト光沢はがきは、印刷時に、用紙どうしが貼り付きやすい場合があります。そのときは、1枚ずつセットしてください。

●写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」(官製はがきに写真が貼り付けられているもの)の宛名面への印刷は、本機ではできません。
※用紙詰まりや故障の原因となりますので使用しないでください。

印刷中の注意事項

●本体を傾けたり、振動を与えたりしないでください。
印刷不良の原因となります。



●印刷中に用紙をひっぱったり、押し込んだりしないでください。
印刷不良や故障の原因となります。

●用紙排出口をふさがないでください。
用紙がつまったり、故障の原因となります。

●印刷中は必ずキーボードを開き、排紙トレイを出した状態でお使いください。

●印刷中には用紙を追加することはできません。
印刷中に用紙を追加すると、用紙がつまったり、故障の原因になります。
用紙を追加するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙切れ」というメッセージが表示されたのを確認してから行ってください。

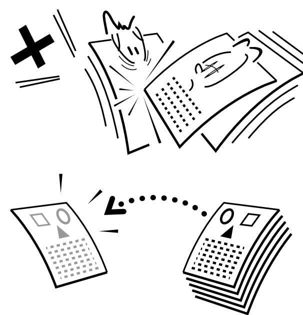
●21枚以上(官製はがきの厚さの場合)印刷するときは、印刷中のすべての用紙の印刷が終わって「用紙切れ」というメッセージが表示されたのを確認したあと、用紙をセットして印刷を行ってください。

●印刷途中に絶対に用紙を引き抜かないでください。

●印刷中は絶対に用紙挿入口及び用紙排出口のローラー部に指を近づけないでください。
指がローラー部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

印刷後の注意事項

●印刷したものをひっかいたり、こすり合わせたりしないでください。
キズや汚れの原因となります。



●印刷したものを重ねて放置したり、水にぬらしたり、ほかの紙にこすったりしないでください。印刷が写ってしまうことがあります。

印刷後のお手入れ

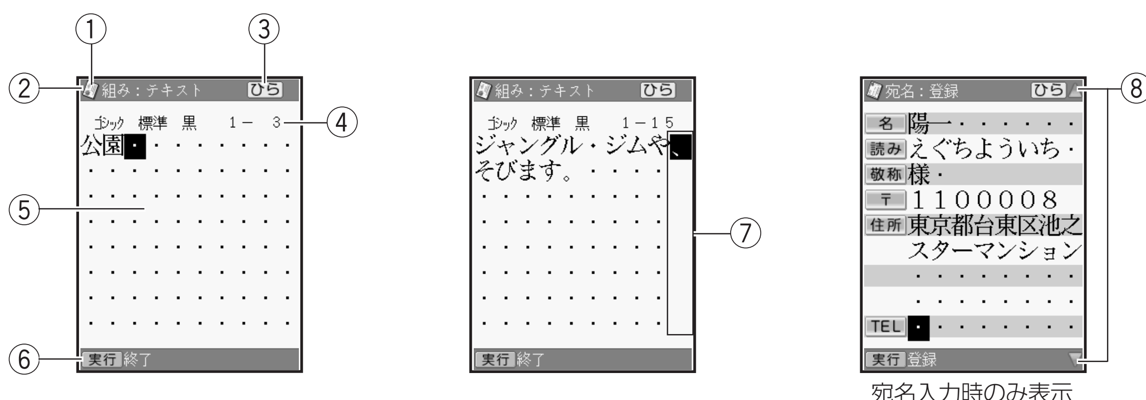
●本機のプリンターはインクジェット方式です。印刷を行っていると、プリントカートリッジ収納部周辺や製品本体にインクが付着する場合があります。インクが付着したときは、水を浸してかたく絞ったガーゼなどで拭き取ってください。

●長時間使用しないときは、キーボード及び排紙トレイは閉めて保管してください。

●本機を長期間使用しないときは、プリントカートリッジ収納部カバーをしっかりと閉めて、直射日光のあたらない場所で、高温多湿を避けて、保管・管理してください。
※プリントカートリッジは、本機に入れたまま保管してください。プリントカートリッジを単体のままで長期間保管すると、インクノズル部分の目詰まりの原因となります。

画面の見かた

本機の画面にはいろいろな情報が表示されます。



宛名入力時のみ表示

①	機能表示： …宛名作成機能のときに表示されます。 …文面作成機能のときに表示されます。 …デジタル写真プリント機能のときに表示されます。 …設定画面のときに表示されます。
②	モード表示行：現在表示している画面の情報を示しています。
③	モード表示：入力についての状態を示しています。
④	文字修飾表示行：文字の修飾内容などを示しています。
⑤	作成画面：打ち込んだ文字や文書を表示します。
⑥	操作ガイド：操作に必要な情報が表示されます。
⑦	禁則桁：組み合わせ作成、オリジナルはがき作成、コメントプリント、写真俳句（応用作成のみ）で文面を作成しているとき、通常の入力桁の右側に禁則桁が設けられます。テキスト入力に禁則処理（、。，．を行頭に配置しないようにする）を加え、文字の自然な配置を実現しています。
⑧	▲▼マーク：画面からかくれている選択項目や内容があるときに表示されます。

● カーソルのはたらきと動かしかた

●文面や宛名面に文字を入れているときに、■が表示されます。これは位置を示した印で、カーソルと呼びます。カーソルが合っている位置で文字キーを押すと文字が入り、削除を押すと文字が消えます。



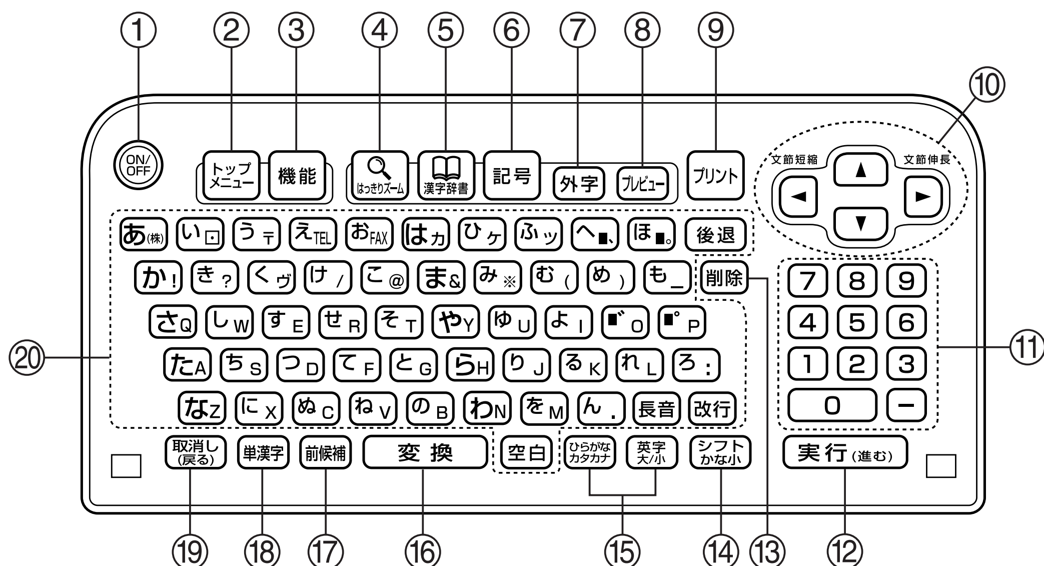
●カーソルは▲▼◀▶を押して動かします。

▲	上にカーソルが移動する
▼	下にカーソルが移動する
◀	左にカーソルが移動する
▶	右にカーソルが移動する

●画面にかくれている文字を見るためには、▲▼◀▶を押してかくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

キーボードと主なキーの働き

キーボードには、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では「キー」と呼んでいます。
ここでは主なキーの使いかたについて説明しています。



①	ON/OFF：電源を入れたり切ったりするときに押します。
②	トップメニュー：トップメニュー画面を表示するときに押します。
③	機能：いろいろな設定をするときに押します。
④	はっきりズーム：入力した文字を大きく拡大して確認したいときに押します。
⑤	漢字辞書：画数や部首などから漢字を入力したいときに押します。
⑥	記号：キーに印刷されていない記号を入れるときに押します。
⑦	外字：自分で文字を作ったり、作った文字を入れたりするときに押します。
⑧	プレビュー：印刷の仕上がり状態を確認するときに押します。
⑨	プリント：印刷するときに押します。
⑩	▲▼◀▶：文字が入る位置を示した■や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押します。また、項目などを選択するときにも押します。
⑪	数字キー：数字を入れるときに押します。
⑫	実行(進む)：操作を進めていくときに押します。
⑬	削除：文字を間違えたときに押します。
⑭	シフトかな小：キーの上にピンクの文字で書かれている機能を使うときに押します。
⑮	ひらがなカタカナ 英字大/小：ひらがなやカタカナ、またはアルファベットの入力を切り換えるときに押します。
⑯	変換：ひらがな入力した文字を漢字に変換するときに押します。
⑰	前候補：漢字変換するとき、まえに表示されていた候補の文字を表示させたいときに押します。
⑱	単漢字：1文字ずつ漢字を変換するときに押します。
⑲	取消し(戻る)：操作を取り消したり、中止するときに押します。
⑳	文字キー：文字を入れるときに押します。

■キーのあらわしかたについて

例 れL を押したあとに続けて 実行(進む) を押すとき…

↓

れL 実行(進む) と押します。

●キーの上にピンク色で書かれている機能を使うには…

 を押したあとに続けてピンク色で書かれている下のキーを押します。



例「文字短縮」の機能を使うとき…

↓

 文節短縮 ◀ と押します。

●操作手順の中で、「▲▼◀▶を押して…」と書かれているときは、▲▼◀▶のいずれかを押してください。4つのキーすべてを押す必要はありません。

操作の進めかた

本機の操作を始めるには、まず トップメニュー を押します。
トップメニュー を押すと、トップメニュー画面が表示されます。
ここから、操作が始まります。



トップメニュー画面

1 **ON/OFF を押して、電源を入れます。**
トップメニュー画面が表示されます。

2 **トップメニュー画面では、機能の内容やできることがイラストで表されています。これをアイコンと呼びます。あなたがしたいことを選んでください。**

どうやって選ぶの？
アイコンが青色の枠で囲まれているのがわかりますか？
▲▼◀▶のいずれかを押すと、青色の枠が動きます。あなたが選びたいアイコンに青色の枠を合わせてください。






3 **したいことのアイコンを選んだら、実行(進む) を押します。**
これで、あなたが選んだメニューにしたがって、操作が進みます。

4 **操作を進めていくと、次々と選択画面が表示されます。**
選択を間違えてしまったり、前の画面に戻りたいときは、取消し(戻る) を押します。
また、トップメニュー を押して、トップメニュー画面から操作をやり直すこともできます。

選択画面について
▲▼◀▶を押して、あなたがしたい項目に青色の枠を合わせてください。



「拡張」は本機の将来の拡張用に設けてある項目です。